

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理				整理番号	692		枝番号				
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	713		
係名				管理係				上位施策名		No			
予算事業名				リサイクル・清掃管理				コード	67500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	清掃事業担当各課との連絡調整事務。 清掃関係情報の収集、提供事務。 ごみの搬入、搬出に関するデータの集積を行い、出先事業所と本庁においてごみ量を把握する。清掃車運転手休憩室の維持管理を行う。				清掃総合情報システムの運用により正確なデータを共有し、事務処理の効率化を実現させる。清掃に関する情報が各課に提供されることにより業務が円滑に行われる。他自治体や他機関との情報交換を行うことにより新しい施策の構築や計画策定に役立たせる。								
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 清掃事業従事職員数				(1)									
(2)				(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)		人	373	353	335	337	332					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)												
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	41,056	43,299	45,659	44,478	43,610	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	30,078	32,972	34,658	34,851	35,630					
	職員数(常勤   非常勤)		人	2.10   0.00	2.71   0.00	2.71   0.00	3.14   0.00	3.14   0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	19,074	24,374	24,661	28,574	28,574					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	60,130	67,673	70,320	73,052	72,184					
	単位あたりコスト ÷		円	161,206	191,708	209,910	216,772	217,422					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	60,130	67,673	70,320	73,052	72,184						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.6	活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	97.4				
		文書ホルダーの再利用等、事務用品費の節減に努めた。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		なし											

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	16年4月に西・東清掃事務所及び清掃事業所の統合が行われ、杉並清掃事務所となった。平成18年度に清掃事業の完全移管が予定されている。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 清掃総合情報システムによりごみ量や車両稼働状況を把握し、計画的な業務執行とデータ把握に効果を上げている。清掃工場敷地内に運転手休憩室の維持管理は、運転手の健康を確保し安全運転を行うために必要である。清掃事業を遂行する上で必要な情報提供事務を行うための電子複写機の契約や物品購入などを行っており、清掃事業にとって不可欠な事務である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 18年度から清掃総合情報システム中に新システム導入予定のため、通信費の増加が見込まれる。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 特定の個人、団体に対するサービスではないため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 主だった経費である清掃総合情報システム維持管理は、23区全体で運用しているシステムであり、義務的経費であるため削減の余地がない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手	理由: 行政が行う義務的業務のため。 理由または具体的内容:
	(6) 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成18年度から一般廃棄物処理業許可事務が区に移管されることから、清掃総合情報システムの中に、一般廃棄物処理業者に関する情報収集(提供)システムを導入する予定である。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 なし
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 義務的業務のため減要素がない。また、各種契約について増減の可能性がない。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理				整理番号	695		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230211	連絡先電話番号	3728		昨年度整理番号	717	
係名 労務担当				上位施策名				No			
予算事業名				杉並清掃事務所維持管理		コード	69100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成 12年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 労働安全衛生法 (2) 杉並区安全衛生委員会設置規程 (3) 安全作業手順						
	清掃事務所、清掃事業所の職員、正副安全運転管理者、衛生管理者				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 清掃職員を対象に交通安全講習会（春・秋）を開催する。正副安全運転管理者対象の講習会に参加する。自動車運転職員対象の運転技術研修に参加する。安全作業に関する職場内研修の充実。部及び所の安全衛生委員会の定期的開催。安全パトロールの実施。保護具の支給及び適正な着用の指導。				交通安全に対する管理体制を強化する。自動車運転職員の運転技術の向上と安全運転意識を高める。交通事故件数を減少させる。公務災害の発生を防止する。						
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 交通安全講習会受講者数及び自動車運転職員研修受講者数				(1) 交通事故発生件数(加害・被害)							
(2) 安全衛生委員会開催回数				(2) 公務災害発生件数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	444	446	474	407	447	450	90.4	
	活動指標(2)		回	29	29	21	19	21	21	90.5	
	成果指標(1)		件	15	14	0	16	0	0		
	成果指標(2)		件	18	20	0	22	0	0		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,327	11,327	10,685	12,559	14,706	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度の組織統合により、事業所安全衛生委員会が無くなり、3所から2所になった結果、開催回数が減少する。 17年度における「(内)委託費」の増加は、腰痛予防指導委託を新たに取り入れたため。(210千円増)		
	(内)委託費		千円	74	74	36	7	273			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.40	0.00	1.40	0.00	1.40			0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,716	12,592	12,740	12,740			12,740
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 ++		千円	24,043	23,919	23,425	25,299	27,446			
	単位あたりコスト ÷		円	54,151	53,630	49,420	62,160	61,400			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	24,043	23,919	23,425	25,299	27,446				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		85.9	活動指標(2)の16年度達成率%		90.5	16年度予算執行率%	117.5		
		前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)									
職員の保護具、作業服等については、試行を行いながら今後の導入の検証を行った。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度の清掃事業の移管により東京都の事業から区の事業になった。ごみの減量等により移管時に405人(うち、自動車運転手47名)いた清掃職員(嘱託員を含む)が、平成17年度には309人(うち、自動車運転手38人)に減少した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	直営車か雇上車かは特定できないが、運転マナーに対する苦情がある。
	今後の予測	道路事情や収集形態の変化など、ごみ収集をとりまく環境の変化の中で、引き続き交通安全対策や安全管理は重要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 毎日の収集作業や自動車運転においても安全意識を忘れないように、適時に交通安全講習会や安全衛生委員会を開催している。また、自動車運転手を対象に危険な状況を想定した運転技術の研修に参加し、運転技術の向上を図り、交通事故減少に取り組んでいる。こうした取り組みが、収集サービスの向上につながる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 安全対策や交通安全に対する職員の意識の向上を図ることにより、経費を最小限にして効果を上げることが可能である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 職員の職務遂行上必要な事業なので、雇用者の責任で行うものであり、受益者負担に適さない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 交通安全講習会や自動車運転職員の実技研修は、実施機関で費用が決められているので、コストを下げるのは困難であるが、安全管理が徹底することにより、事故が発生した際にかかる費用を支出する必要がない。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 職員の労働安全・交通事故対策は、雇用者である杉並区が自ら行う責務がある。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 安全で円滑な清掃作業を実現するため、「加害交通事故ゼロ」を目標に掲げ、部の重要課題として取り組む。作業服を反射板を貼付したものに变更して行くことや、安全な保護具の選定等、より安全、快適に作業ができるような環境を整備し、作業事故ゼロを目指す。安全作業手順の見直しを行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ローテーション職場であることから、同時期に講習会や研修等に全員を参加させることが難しい。長期的な計画になっても全員を参加させる体制を徹底する。また、毎日のミーティングの中で安全作業、手順の徹底について確認を行う。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	安全管理の質的向上を図り、事故ゼロを目指す。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみの収集・運搬				整理番号	699		枝番号												
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208		連絡先電話番号	3725		昨年度整理番号	720										
係名				清掃計画係				上位施策名		No											
予算事業名				ごみ収集管理、ごみ収集作業等				コード	68100 68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20								
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業													
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等															
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則															
	区内一般家庭及び事業者(排出日量50kg未満)			事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)																	
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			分別・排出された可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみを集積所等から収集し、中間処理施設又は車両中継施設へ搬入する。 また、カラス等によるごみ散乱を防止するための方策を講じ、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。																	
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ごみ量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ) (2) 作業日数																		
					16年度		17年度		目標値		目標値に対する16年度の達成率%										
			区分		単位		14年度実績		15年度実績		16年度計画		16年度実績		17年度計画		目標値19年度				
指標	活動指標(1)			t		133,269		132,587		131,863		128,668		129,097		122,344		105.2			
	活動指標(2)			日		311		312		312		312		312		312		100.0			
	成果指標(1)			%		98		99		99		97		100		97		100.2			
	成果指標(2)			t		428.52		424.96		422.64		412.40		413.77		392.13		105.2			
総事業費・コスト把握	事業費			千円		991,408		992,296		1,071,662		1,014,553		1,087,499		<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など)  活動指標(1)は資源を除く区収集ごみ量。昨年度の事務事業評価では、計画量として作業計画上の処理量に作業日数を乗じた量を計上したが、新規事業等による減量効果が反映されず実績と乖離した。したがって今回から、実施計画及びごみ半減プランの資源回収量等を反映させ計上した。なお、16年度実績は、速報値(参考値)である。  受益者負担分は、廃棄物処理手数料。					
	(内)委託費			千円		30,408		82,864		120,364		104,855		133,014							
	職員数(常勤 非常勤)			人		197.06   35.00		194.70   37.00		188.09   7.00		187.66   7.00		180.83   12.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)			千円		1,789,896		1,751,132		1,711,619		1,707,706		1,645,553						
		非常勤職員分			千円		102,725		102,083		20,160		20,160		34,560						
	総事業費 ++			千円		2,884,029		2,845,511		2,803,441		2,742,419		2,767,612							
	単位あたりコスト ÷			円		21,641		21,461		21,260		21,314		21,438							
	財源	受益者負担分			千円		396,051		382,903		421,870		363,287		399,985						
		国・都等からの支出金			千円																
		特定財源計 +			千円		396,051		382,903		421,870		363,287		399,985						
差引:一般財源 -			千円		2,487,978		2,462,608		2,381,571		2,379,132		2,367,627								
受益者負担比率 ÷			%		13.7		13.5		15.0		13.2		14.5								
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		97.6		活動指標(2)の16年度達成率%		100.0		16年度予算執行率%		94.7								
			16年度は、作業計画上的ごみ収集車両台数を前年比で1台減車した。また、ごみ量減量率は、前年度比97%に達した。なお、事業費が増加している主な理由は、直営車両の不足による雇上車の借上げ(2台)、収集職員の不足による人材派遣への委託などによる。																		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			不燃ごみの減量化に向け、廃プラスチックの分別収集を順次拡大し実施している。まちの美観を保持するため、容器出しの推奨、カラス対策用のごみ袋の実験等を実施し、効果を検証中である。また、要望の高い折り畳み式ごみ収集ボックスは、配布台数を増加した。なお、今年度4月から午前中の収集作業を強化したが、今後さらに収																		

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ごみ量は総体的に減少傾向にあるが不燃ごみは横這い・微増しており、プラスチックのリサイクルが重要な課題である。また、ごみの収集・運搬作業の形態は、ごみ量に応じ人員機材を配置しているが、基本的に移管時の状態が保持されている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域コミュニティの希薄さから、集積所の管理に関する住民間のトラブルも多く、マナーの改善や戸別収集を望む声が多い。区民の生活様式や考え方が多様化・個別化し、各人の生活スタイルに合致した収集形態を求める傾向にある。
	今後の予測	区民生活の多様化・個別化が進展する中で、戸別収集への要望が高まるものと予想される。また、集積所の管理やごみの減量に熱心な区民からは、不公平感や不満の声が寄せられている。今後、排出者の責任とごみ処理に係る負担の公平性を明らかにし、ごみ減量へのモチベーションが働くよう、戸別収集や家庭ごみ有料化の導入について検討を要する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 清掃事業は、区民の日常生活に密着しかつ不可欠な事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 清掃事業の完全移管が達成されると、区が独自に作業の効率化を推進する余地が拡大する。作業内容の見直しや協働を推進することにより、成果を向上できる可能性が高い。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: ごみ減量及び負担の公平性の観点から、家庭ごみ有料化の導入についても検討を要する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: ごみの収集・運搬については、効率性の観点から作業内容を見直すほか、外部委託等を推進することにより、コスト削減の余地がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: ごみの運搬については、現在収集・中継車両(運転手を含む)の約8割を民間業者から借上げている。また、収集作業については、職員の不足分を人材派遣等により補填している(ごみ収集作業の人材派遣は、16年度19人、17年度は25人の予定)。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄  今後の具体的な取り組み: 収集サービスの向上に向け、民間業者と協働しサービスの拡充や事業の効率化を図る。職員は、よりきめ細かなサービスの提供や指導的な役割にシフトすることが望ましい。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 民間業者と協働することにより、事業の拡充・効率化を図る。区(職員)は、指導的な役割やよりきめ細かなサービスの担い手へとシフトすることが望ましい。また、区民・事業者の協力により分別を徹底し、新たなリサイクルを拡大していくことによりごみの減量が図られ、事業コストは減少するものと予想される。しかし、戸別収集等新たなサービスを実施するためには、人員・機材・時間・経費等のコストを適確に推計し、実施に向けた財源を確保する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事業の委託化を進めるためには収集・運搬に携わる職員の処遇が問題となり、急速かつ全面的な委託化は当面は実施できない。したがって、作業内容や職員の役割を見直しつつ、徐々にアウトソーシングを拡大していく。そのためには、職員の意識改革を図るほか、区の清掃事業の将来像を職員・区民・事業者が共有し、共に推進していくことが不可欠である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 18年度は清掃事業の完全移管が達成される年であり、区が主体的に収集・運搬作業を見直す余地が拡大する。また、廃プラスチックの分別収集対象地区を区の1/3地区に拡大することにより、不燃ごみのかかなりの減量が予想され、ごみ収集・運搬作業は縮小する方向である。しかし、粗大ごみの収集を拡充するなど、今後新たなサービスの実施にともなう経費の増加も見込まれ、18年度予算は総体的には微減するものと予測される。	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金				整理番号	700	枝番号		
担当部課 環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3723	昨年度整理番号	721		
係名 管理係		上位施策名			No					
予算事業名 一部事務組合等負担金		コード	68900		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約 (3) 東京二十三区清掃協議会規約							
	東京二十三区清掃一部事務組合 東京二十三区清掃協議会		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区が行っていないごみの中間処理などを23区で共同処理するほか、清掃車両雇上会社の配車調整、23区ごみ推奨袋の認定事務、一般廃棄物処理業の許可に関する事務などを行うための経費を各区が人口に応じて負担する。		区が負担金を支出することにより、東京二十三区清掃一部事務組合が可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道投入について共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び東京二十三区清掃一部事務組合等との連絡調整を行う。							
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 4月1日現在人口(住民登録者数及び外国人登録人口)		(1) 杉並区のごみ処理量(資源物を除く)								
(2)		(2) 杉並区のし尿処理量								
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
				計画	実績					
指標	活動指標(1)	人	519,561	522,155	522,155	524,819	524,819	501,404	104.7	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	t	153,390	151,118	152,613	147,199	147,278	99,959	147.3	
	成果指標(2)	kl	124	143	310	158	142			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,442,154	2,418,856	2,414,553	2,404,578	2,424,512	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度のごみ処理量は、速報値とした。16年度の持込ごみ処理量は、数値が確定していないため、前年の持込ごみ量と同一数値とした。		
	(内)委託費	千円								
	職員数(常勤   非常勤)	人	0.21   0.00	0.22   0.00	0.22   0.00	0.21   0.00	0.21   0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,907	1,979	2,002	1,911			1,911
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	2,444,061	2,420,835	2,416,555	2,406,489	2,426,423			
	単位あたりコスト ÷	円	4,704	4,636	4,628	4,585	4,623			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,444,061	2,420,835	2,416,555	2,406,489	2,426,423			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.5	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	99.6	人口移動による負担額の微減による執行率の減。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始 清掃一部事務組合分担金 23区総額の推移 12年度:38,736,990千円 13年度:41,598,973千円 14年度:39,000,216千円 15年度:38,760,199千円 16年度:38,710,852千円
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	平成17年度末で東京二十三区清掃協議会が廃止される予定であり、平成18年度は東京二十三区清掃一部事務組合のみの負担金の予定である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:東京二十三区清掃一部事務組合は、区が行う収集・運搬以外の処理・処分やし尿処理を行い収集サービスを完結させている。また、東京二十三区清掃協議会は、清掃車両雇上会社への配車調整、一般廃棄物処理業の許可に係る事務、23区推奨ごみ袋の認定に係る事務などを23区の窓口として行うことにより正しいごみの排出、円滑な収集・運搬事業を実現させている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会は受益者でなく、事業主体であるから。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 中間処理施設の運営経費、改修工事経費についてコスト削減を図るよう、東京二十三区清掃一部事務組合に対して働きかける。 23区全体のごみ量を減らすことにより経費が削減できることから、当区においてもごみの削減に向けた取組を行う。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会運営経費の分担金のため  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年度末で東京二十三区清掃協議会が廃止される予定であり、18年度以降は清掃協議会の負担金がなくなる予定である。また、現在、各区が負担している額は、人口をベースとして算出されている金額である。今後は、各区から出されるごみ処理量によって算出される額となることが予定されている。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成17年度末で東京二十三区清掃協議会が廃止される予定であり、平成18年度は東京二十三区清掃一部事務組合のみの負担金の予定である。東京二十三区清掃一部事務組合の負担金については、ごみ処理量によって算出される分担金制度になるまでは、大きな増減はないと考えられる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浄化槽維持管理				整理番号	703		枝番号						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先電話番号	3723		昨年度整理番号	724				
係名				管理係				上位施策名			No				
予算事業名				ごみ収集作業等				コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 浄化槽法 (2) 杉並区浄化槽指導要綱 (3) 杉並区浄化槽清掃経費助成特別措置に関する要綱								
	区内に設置された浄化槽の管理者				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				浄化槽の管理者に対して適正な浄化槽の保守・管理を促し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とする。また、公共下水道告示地域の浄化槽管理者には、早期の下水道への接続を促し浄化槽利用がなくなる。										
	区内の浄化槽の現況調査等による把握。苦情による浄化槽管理者に対する指導。下水道未普及地域に設置された浄化槽の清掃経費助成。				浄化槽の管理者に対して適正な浄化槽の保守・管理を促し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とする。また、公共下水道告示地域の浄化槽管理者には、早期の下水道への接続を促し浄化槽利用がなくなる。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 浄化槽利用者調査の発送件数				(1) 浄化槽設置数											
(2) 浄化槽清掃経費助成件数				(2)											
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度計画		16年度実績		17年度計画	目標値20年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		件	130	104	76	92	78	60	153.3					
	活動指標(2)		件	1	1	1	1	1	0						
	成果指標(1)		基	89	76	76	78	78	60	130.0					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	17	15	37	32	37	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)						
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.10   0.00	0.32   0.00	0.32   0.00	0.09   0.00	0.09   0.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	908	2,878	2,912	819	819							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	925	2,893	2,949	851	856							
	単位あたりコスト ÷		円	7,115	27,817	38,803	9,250	10,974							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0					0		
差引:一般財源 -		千円	925	2,893	2,949	851	856								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	121.1	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	86.5	浄化槽の調査の回答率は昨年同様だが、廃止が確認されたもの、新たに浄化槽を使用中であることが確認されたものについて浄化槽管理者台帳の整理が進んだ。							
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		浄化槽で型式が不明なものについて、浄化槽清掃業者の協力を得て把握することができた。													

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に都から区に事業が移管された時点で、区内には下水道未普及地域がほとんどなく、現在清掃経費を助成する件数は1件となっている。浄化槽の管理者数は都からの移管時の台帳から現況調査により削除しているが、台帳にない浄化槽管理者についてもアンケートを行い、台帳に追加する場合もある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	浄化槽から出る臭いによる苦情が若干ある。
	今後の予測	浄化槽管理者に対して下水道への直結を促すように啓発を行ったが、「費用がかかる」「建替え時に廃止する」「(周囲の環境により)工事が難しい状況にある」、等早くに廃止を進めるのが困難な状況にある。18年度から、東京二十三区清掃協議会の管理執行事務である浄化槽清掃業許可事務等が区に移管される予定である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由 )	理由: 浄化槽の数が少ないため。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 浄化槽を下水直結するためには、個人の経費負担が多いため今後啓発を進めても効果が期待できない。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: ほとんどの浄化槽管理者に対する助成はないため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 浄化槽清掃経費助成の制度について見直しを図る。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働 [その他] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 浄化槽の型式等、区が調査するのが困難な事項について、浄化槽清掃業者の持っているデータから情報を提供してもらった。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働 [補助・助成] (具体的内容 )	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 引き続き、浄化槽の型式等、区が調査するのが困難な事項について、浄化槽清掃業者の持っているデータからの情報提供を受ける。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 浄化槽の清掃経費については対象が1件であるため、助成を継続するかどうかについて検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	東京二十三区清掃協議会からの事務の移管により、印刷費等若干の経費増が見込まれる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		エコ商店街事業				整理番号	704		枝番号	
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3733		
係名		リサイクル推進係				上位施策名		No		
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1)					
	資源回収に取り組もうとする商店会		(2)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3)							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		商店街にペットボトル、空き缶の回収機又は回収ボックスを設置し、近隣住民にペットボトル、空き缶を持ち寄ってもらう。回収機の当初経費、回収ボックス購入経費、回収経費は、区が負担する。商店街は、回収品の排出など回収に伴う労働を提供する。								
事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		ペットボトル、空き缶の回収を通じて、ごみの減量に寄与するとともに、商店街の活性化につなげる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) ペットボトル、空き缶回収機設置台数		(1) 資源回収量								
(2) ペットボトル、空き缶回収ボックス設置商店街数		(2)								
指標	区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
	活動指標(1)	台			2	0	2	6	0.0	
	活動指標(2)	商店街			5	0	7	11	0.0	
成果指標(1)	kg			30,000	0	36,000	48,000	0.0		
成果指標(2)						0				
総事業費・コスト把握	事業費	千円			18,000	0	17,216	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度は、回収した資源の収集運搬を雇上車両で行う予定であったが、17年度は、委託とする予定である。		
	(内)委託費	千円			1,449	0	10,891			
	職員数(常勤   非常勤)	人			0.30	0.32	0.60			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,730	2,912			5,460
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	0	0	20,730	2,912	22,676			
	単位あたりコスト ÷	円			10,365,000		11,338,000			
	財源	受益者負担分	千円			0	0			0
		国・都等からの支出金	千円			0	0			0
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	20,730	2,912	22,676			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	0.0	活動指標(2)の16年度達成率%	0.0	16年度予算執行率%	0.0			
		事業未執行。他自治体等でも同様な回収機の導入を試みているが、運用方法によっては、十分な施策効果が出ていない事例もある。ペットボトル、空き缶回収機は高価な機械であるため、商店街関係者と視察を行うなど、効果的な運用方法について検討してきた結果、制度の導入に至らなかった。								
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	まだ募集を行っていないが、すでに商店会から問い合わせが複数あり、商店街活性化への期待と一方で運用への不安があると思われる。
	今後の予測	運用が始まり、環境活動に関心のある商店会には、回収機、回収ボックスの導入が進む。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由： 区民がペットボトル、空き缶を排出する際に身近な商店街に回収拠点を設置することにより利便性が高まる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容： 事業未実施。実施に向け努力する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容： 区負担分と商店会負担分の適正なあり方について、十分検討のうえ、事業を実施する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容： 事業実施予定内容のうち収集運搬について、16年度の雇上契約から17年度は一般業者への委託とする。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )	理由：  理由または具体的内容： 回収機の当初導入経費と集まった資源の回収を区が負担する。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 取り組みをはじめる時には、区の助成によりスタートし、その後軌道に乗った段階で自主運営に切り替えていく。また、商店会の取り組みを近隣住民に周知することで、施策の効果を上げるとともに、商店会の活動を活性化させる。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ペットボトル、空き缶回収機、回収ボックスを商店街に設置するにあたり、商店会の自主的な運営が進むには、回収が集客につながるシステムとなる必要がある。商店会との協働により、検討と導入を進めていく。導入までに費用負担についても、十分説明を行い、理解を得る。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 回収機、回収ボックスを設置することにより、商店会が行う回収袋の交換や排出などの手間が増え、回収袋を置く場所も必要になる。この負担に見合った集客がないと商店会による取り組みは困難になる。袋の交換が少なくともよい機械の導入や回収回数工夫する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 回収機導入台数が増えることにより、回収実績に伴う支出が増える。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区清掃協力会				整理番号	706	枝番号			
担当部課名 杉並清掃事務所		コード	23501	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	726				
係名 管理係		上位施策名				No					
予算事業名 普及啓発		コード	67900	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区清掃協力会会則 (2) 杉並区清掃協力会女性部運営細則 (3)								
	杉並区清掃協力会への事業委託										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 施設見学会及び清掃懇談会の実施、協力会員対象環境美化、資源再利用の促進、ごみの減量化及び排出のルールの普及などの活動を行う地域団体への側面からの支援		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民、事業者が清掃に関する理解を深め、自主的に地域の資源の再利用の促進やごみの適正排出及び減量化に積極的に取り組む。								
	活動指標名(式) (1) 清掃懇談会及び女性部会等の参加者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 資源化率(ごみ量中の資源の率) % (2)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	960	873	1,000	820	1,000	1,000	82.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	16	17	18	18	19	22	81.8	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	708	657	708	708	708	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	708	657	708	708	708			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.92	0.92	0.90	0.92	0.90			0.90
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,356	8,274	8,190	8,372	8,190			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	9,064	8,931	8,898	9,080	8,898			
	単位あたりコスト ÷		円	9,442	10,230	8,898	11,073	8,898			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	9,064	8,931	8,898	9,080	8,898				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	82.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	100.0	行政との協力体制が進んだ。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年6月2日付けで、東・西清掃協力会が統合し、杉並区清掃協力会を設立した。清掃協力会が実施した総会、支部懇談会、施設見学会等で、清掃関連の情報や区の取り組みなどを情報提供し、協力会の活動を側面から支援した。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区のごみ量(単位:トン) 平成14年度133,269 平成15年度132,587 平成16年度 128,668 資源化率(ごみ収集量中の資源の率) 平成11年6月から開始 排出者である区民のごみ減量、資源化への理解・協力が高まり、分別排出が促進され、資源化率が向上してきている。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	協力会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高い。また、チラシ配布・ごみの排出指導など事務所への協力度も高い。
	今後の予測	ごみゼロ社会づくりを目指した、更なるごみの減量化、再資源化、再利用の促進のためには、これまで以上に区民・事業者の理解および参加が必要不可欠である。行政と住民のパイプ役を担っている協力会の役割は今後、ますます重要になっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由:環境衛生の向上のため、行政と区民とが一緒になって取り組むことが必要である。協力会は、行政と地域住民をつなぐパイプ役として環境清掃行政を支えている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:事業内容を変更するなどにより可能。  理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:清掃協力は、住民の任意団体のため、区が判断すべきではないと考える。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容:委託内容を変更するなどにより可能。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容:自主的活動支援のための事業であり、清掃事業の普及啓発のための協力会員及び一般区民を対象とした、施設見学会及び清掃懇談会事業を委託している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄  今後の具体的な取り組み:平成17年6月、西・東清掃協力を統合し、杉並区清掃協力が設立した。これを機に、委託事業についても見直しを行い、より協働を推進する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成17年6月、西・東清掃協力を統合し、杉並区清掃協力が設立した。これを機に、資源・ごみについての意識啓発を、協力会の更なる推進事業として委託内容に含め、いわゆる無関心層に対してもごみ出しルール等の周知徹底を図っていききたい。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託内容に見合った広報活動を実施できるように、側面から支援する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 施設見学会の実施規模等見直しをする内容等もあるが、今後検討を進めることとし、来年度予算については現状維持の予算見積もりとする。	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導				整理番号	708		枝番号			
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230504		連絡先電話番号	230504		昨年度整理番号	728	
係名		作業係				上位施策名			No			
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第5条 (3)							
	区民及び区内事業者		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		集積所単位でごみの排出、及び、事業系有料ごみ処理券貼付(受益者負担)指導を計画的に実施する。		・可燃・不燃ごみ、資源の分別排出の徹底及び、ごみ減量、リサイクルの推進 ・有料ごみ処理券貼付の徹底							
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) ふれあい指導件数		(1) 不燃ごみの資源混入率										
(2)		(2) 資源化率										
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)		件	3,311	3,386	3,072	3,032	3,109	3,263	92.9		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	18	22	20	13	11	7	185.7		
	成果指標(2)		%	16	17	18	18	19	22	81.8		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,326	2,955	13,408	1,998	10,298	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0						
	職員数(常勤   非常勤)		人	10.45	10.89	10.00	10.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	94,917	97,945	91,000	91,000	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	101,243	100,900	104,408	92,998	10,298				
	単位あたりコスト ÷		円	30,297	25,787	33,642	30,672	3,312				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	101,243	100,900	104,408	92,998	10,298					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		98.7	活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	14.9			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ふれあい指導の担当者のみが行っていた指導を、収集職員が指導を行えるようになった。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	曜日違いなどのルール違反ごみの調査・指導、集積所の改善、戸別収集化の要請。
	今後の予測	区民、事業者へのより一層の分別、貼付指導の徹底。廃プラスチック分別収集地域の拡大。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由:不適正排出者に対する指導の徹底により、ごみの減量、リサイクルの推進、定期的な環境学習会の開催など、効果は大きい。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容:不適正排出集積所の現状をデータ化し、継続的に指導する。(集積所カルテを作成)
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容:事業の性格から受益者負担の余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容:各収集作業員への一部業務移行。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由または具体的内容:住民、事業者への指導業務は協働になじまない。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 定期的な異動を行うことにより、ふれあい指導班経験者の蓄積を行い、各班での指導業務の充実、向上を図る。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	709		枝番号				
担当部署		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	729		
係名 管理係				上位施策名				No					
予算事業名 杉並清掃事務所維持管理				コード 69100				ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20	
事務事業の概要	事業開始年度 ○昭和 ●平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 消防法								
	本所-784.70㎡(S41.6竣工)、方南支所-1875.64㎡(S53.12竣工)、下井草分室-602.96㎡(S58.9竣工)、杉並中継所-6890.31㎡(H8.3竣工)				(2) 建築基準法								
					(3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
各清掃事務所及び分室並びに杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。方法は、職員と業者委託による遂行。				建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 建物の延床面積(㎡)				(1) (代) 不具合件数									
(2)				(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		㎡	10,154	10,154	10,154	10,154	10,154					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件	45	59	0	44	0	0				
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	118,295	97,274	123,155	108,408	186,766	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	21,544	22,991	26,819	23,155	28,842					
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.69   2.00	4.69   2.00	4.50   2.00	4.68   2.00	4.50   2.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	42,599	42,182	40,950	42,588	40,950					
		非常勤職員分	千円	5,870	5,518	5,760	5,760	5,760					
	総事業費 + +		千円	166,764	144,974	169,865	156,756	233,476					
	単位あたりコスト ÷		円	16,424	14,278	16,730	15,438	22,994					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	166,764	144,974	169,865	156,756	233,476						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		100.0	活動指標(2)の16年度達成率%			16年度予算執行率%	88.0				
		施設の老朽化に伴い、配水管・建具などの修理が増加している。											
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		昨年度は一年間を通して夜間収集を実施した結果、省エネ・節水対応の物品購入や全職員のISOへの意識の徹底に努めたにもかかわらず増額した。											

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度6月に夜間・早朝収集作業が開始されたことに伴い、従来職員の控室であった一部の部屋を和室に改装し従事職員の対応にあたっている。また、16年度に3所あった事務所の組織統合を図り、効率的な組織の運営をすすめている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並中継所の役割が正当に評価されている一方で、井草森公園周辺の環境問題に関連して、即時に中継所の操業停止を求める意見が一部にある。
	今後の予測	組織統合したことにより機動的で簡素・効率的に運営する執行体制が求められる。また、それぞれの建物の築年数が既に39年、26年と経過しており、今後一層、修繕箇所が増加する事が予測される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由: 清掃事業の運営には欠かせない。また、中継所も計画どおり支障なく不燃ごみを受入れており、建築目的を十分に果たしている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由 ) 成果向上のための方策	理由または具体的内容: 実施計画事業である。また、平成14年度から大規模修繕は営繕課の予算で行っている。 理由または具体的内容:
	(3) 受益者負担の見直し余地は	理由または具体的内容:
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: 建物の機械設備・電気設備・消防設備の保守、樹木の管理、中継所のねずみの駆除、清掃業務の一部などを委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 現在業務委託を行っている建物の機械設備・電気設備・消防設備の保守、樹木の管理、中継所のねずみの駆除、清掃業務等について、今後も継続していく予定である。

今後の事業のあり方 (中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員がISOを着実に実行することで、電気・水道・ガスなどの経費を可能な限り削減していく。(2) 現在、各所単位で契約している委託契約を、集合契約とすることにより、より安価な契約が可能となる。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 清掃の収集作業は、汗や、ごみから出た飛沫などで衣類や体の汚れが日常的であり、職員の健康を維持していく上で光熱水費の削減にはある程度の限界がある。さらに、老朽化した建物への設備投資にも限界があるため、職員へのISOに対する十分な理解と協力を今以上に徹底する。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 限られた財源の中で、内部努力をしながら現状維持を図る。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事業所の施設、建物の維持管理				整理番号	710	枝番号			
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230501	連絡先電話番号	3323-4571	昨年度整理番号	730		
係名		管理係		上位施策名				No			
予算事業名		清掃車の運行及び維持管理		コード	69500	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成 12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 建築基準法						
	対象		杉並清掃事務所高円寺車庫、高井戸車庫、杉並清掃工場内車庫		(2) 消防法						
	対象				(3) 電気事業法						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各施設の建物、設備の維持管理(点検保守委託、修理)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
		(1) 施設の延床面積		(1)							
		(2)		(2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	4,699.78	4,699.78	4,699.78	4,699.78	4,699.78	3,950.68	119.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	61,863	49,084	53,823	47,961	63,071	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	36,367	25,297	28,868	28,280	27,714			
	職員数(常勤   非常勤)		人	3.57   2.00	4.10   2.00	2.00	2.08	2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	32,426	36,875	18,200	18,928	18,200			
		非常勤職員分	千円	5,870	5,518	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	100,159	91,477	72,023	66,889	81,271			
	単位あたりコスト ÷		円	21,311	19,464	15,325	14,232	17,293			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	100,159	91,477	72,023	66,889	81,271				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	89.1				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成16年4月に組織統合を実施し、管理部門の統合を行った。また、平成17年4月に高井戸車庫を高円寺車庫に統合した。高井戸車庫は閉鎖したが、17年度も施設の維持管理業務は残る。平成17年度計画の事業費の増は、高円寺車庫の脱臭塔活性炭の交換と杉並清掃工場内車庫の洗車場污水处理施設機器オーバーホールを予定しているため増額した。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	竣工から5年を経過しており、設備機器の部品交換が発生している。車庫の統合により、高井戸車庫が平成16年度をもって閉鎖された。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	現在までのところ、事業所内及び周辺における騒音、振動、臭気、車両通行等に関する苦情はない。
	今後の予測	建物、設備の経年劣化に伴い、修繕費の増加が見込まれる。高井戸車庫の閉鎖に伴って、施設維持管理経費の一部が削減される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由： 清掃事業の運営に欠かすことができない。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容： 組織統合の結果、類似した契約が複数存在する為、委託契約の範囲及び内容を見直して契約を一つにまとめるなど可能な限り事務を簡素化するとともに、組織統合による規模の大きさを生かした委託契約により経費の削減を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 区の施設、建物の維持管理のため、受益者負担になじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 )	理由または具体的内容： 旧組織の類似した契約を一つにまとめ、組織統合による規模の大きさを生かした契約により経費の削減を図る。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	理由または具体的内容： 現在は、設備、施設の維持管理について、電気設備、機械設備、清掃など、いくつかの分野ごとに保守委託を行っている。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 現状を維持する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 組織が統合された反面、多様な施設や大規模設備の維持管理に対応できる管理体制が求められている。しかも、限られた事務職員で維持管理を担当しなければならないため、専門技術的な委託契約の内容を見直して簡素で分かりやすい内容に改め、適切な維持管理ができるようにする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設、建物の規模が大きいため、事務職だけの維持管理業務には限界がある。このため、専門職の応援を得ながら、日常の維持管理を行っていく。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	高井戸車庫閉鎖に伴い、一部の施設維持管理経費が必要なくなるため、予算見積は減となる。 機械設備保守点検業務委託のブロック化により、経費は減となる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理				整理番号	711		枝番号							
担当部署		環境清掃部杉並清掃事務所		コード	230510		連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	731					
係名				杉並清掃事業所				上位施策名		No						
予算事業名				清掃事業所維持管理				コード	69500		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 道路運送車両法 (3) 自動車損害賠償法、自動車重量税法										
	区所有清掃車両(ごみ収集車)30台			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			区所有清掃車両の運行 区所有清掃車両の車検、点検整備、修理 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払 清掃車両の仕様の決定												
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 年間延べ配車台数			(1) 配車率 配車台数 ÷ 計画台数													
(2) 低公害車の導入台数			(2) 低公害車率 低公害車台数 ÷ 清掃車保有台数													
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度		目標値 19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
							計画	実績	計画							
指標	活動指標(1)		台	8,045	7,373	6,510	6,523	6,200		6,200	105.2					
	活動指標(2)		台	7	4	4	4	26		24	16.7					
	成果指標(1)		%	100	100	100	100.20									
	成果指標(2)		%	100	100	100	100									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	73,532	85,422	37,337	28,223	37,764		<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度までの指標(2)は、低公害車(LPG車、CNG車)の購入台数 17年度からの指標(2)台数は、八都府市指定低公害清掃車両保有台数 16年度計画の事業費を36,309千円から37,337千円に訂正した。						
	(内)委託費		千円	65	65	65	0	65								
	職員数(常勤   非常勤)		人	48.50	0.00	48.39	2.00	43.00	3.00				46.50	3.00	39.00	2.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	440,526	435,220	391,300	423,150	354,900								
		非常勤職員分	千円	0	5,518	8,640	8,640	5,760								
	総事業費 + +		千円	514,058	526,160	437,277	460,013	398,424								
	単位あたりコスト ÷		円	63,898	71,363	67,170	70,522	64,262								
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都等からの支出金		千円	4,527	1,995	0	0	0							
		特定財源計 +		千円	4,527	1,995	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	509,531	524,165	437,277	460,013	398,424									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	100.2	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%		75.6	清掃車の直営による維持管理により、経費節減に努めた。また、整備点検の計画的、かつ、入念な実施により、安全な車両運行の向上に努めた。						
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			車庫統合に伴う配車管理の一元化等に伴い清掃車両予備車台数の見直しを行い、経費削減を図っている。また、年間を通じた車検・点検整備事務の効率的執行態勢の確保及び部品発注方法の変更及び再生タイヤの利用による経費節減、有責事故の削減による修理費等の削減に努めている。16年度に引き続き清掃事務所の作業車の車検、点検整備、修理を事業所で行い、清掃車整備の集中管理による事務の効率的執行に努めている。													

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	清掃事業の移管に伴い、平成12年度から開始された事業である。開設当初、清掃事業所の清掃車の保有台数は33台であった。職員数の減少にともない平成17年度現在、清掃車の保有台数は30台となっている。また、平成16年度から車両管理の集中化が図られ、清掃車両の購入に関する事務については、経理課の所管となった。17年3月に、高円寺、高井戸両車庫を統合し、清掃車両配車の一元的管理(整備を除く。)が可能になった。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	ごみの収集時間について、要望がある。
	今後の予測	ごみ量の遞減に伴い計画台数が減少する可能性がある。環境への負荷を考慮したより厳しい法規制に対応するとともに、災害時における使用についても考慮し、適切な車両配備を図っていく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 ) ▼	理由: 作業計画どおりの配車を行うことにより、収集作業を支障なく完了させている。 また、臨時車、年末年始対策車の配車によりごみ量の変化や午前中収集の強化に柔軟に対応している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) ▼ 成果向上のための方策 その他(具体的内容 ) ▼	理由: 実車・予備車の点検整備を行い、安定配車・円滑作業を行う  理由または具体的内容: 事業量は現状維持とし、事業コストの低減化について多角的検討を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 ) ▼	理由または具体的内容: 清掃車両の運行、点検・修理等に関しては、受益者負担の余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容 ) ▼	理由または具体的内容: 清掃車両の台数の適正管理、再生タイヤの使用、部品の発注方法、整備の充実、有責事故の削減等によりコスト削減が可能である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) ▼ 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) ▼ 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 ) ▼	理由または具体的内容: 清掃車両運行の委託割合については清掃事業の移管に際し、一定の比率が定められている。  具体的内容: 直営車比率に満たない部分については、雇上により対応している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) ▼ 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容 ) ▼	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄  今後の具体的な取り組み: 職員数に見合う直営車の運行を行っている。これを切り込んだ拡大は職員の配転が必要。
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予備車台数を見直し、平成19年度までに16年度末に30台保有している清掃車両を24台とする。車両の燃料種別は、環境への負荷軽減及び災害対策を考慮して、天然ガス、低公害ディーゼル各12台とする。更新時期については、年間の車検・点検整備事務が効率的に行えるように調整する。また、部品発注方法の変更、再生タイヤの利用、安全運転の励行による有責事故の削減を通して、車両維持管理経費を節減するとともに、作業計画に基づいた配車を行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 清掃事業所駐車場の駐車台数が21台に制限されており、予備車を高井戸清掃工場内の車庫に置いているので、点検整備、修理に際して予備車の頻繁な移動及び綿密、かつ、非常時(車両火災等)に対応可能な整備計画が必要となる。また、有責事故の削減については、特効薬はない。日々の安全運転の励行を通して「事故ゼロが常識」の組織風土の定着を着実に進めていき、成果に結びつけたい。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 清掃車両保有台数の減並びに16年度及び17年度予算執行状況の精査に基づく車両部品購入費用の節減による。	

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継作業				整理番号	712		枝番号				
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230631		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	732		
係名				杉並中継所				上位施策名		No			
予算事業名				ごみ収集作業等				コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 清掃事業移管協定						
	杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみ				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				23区全体の広域的な施設である中継所の1つとして、杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみの積み替え作業を行っている。この積み替えによって最終処分場まで行く清掃車の台数を8分の1に減らしている。								
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 杉並・中野・練馬の3区全体の不燃ごみ中継量				(1) 不燃ごみ中継比率									
(2) 積み替え後、コンテナ車出庫総延べ台数 ÷ 中継所搬入総延べ台数 × 100				(2)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		t	53,491	55,301	57,939	53,748	55,360	37,403	143.7			
	活動指標(2)		%	14	15	14	15	15	15	100.0			
	成果指標(1)		%	81	73	73	79	80	80	98.8			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	662,794	684,466	692,654	655,887	690,811	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)委託費		千円	42,100	42,993	44,688	42,028	43,299					
	職員数(常勤   非常勤)		人	13.10   6.00	12.00   6.00	12.00   2.00	12.00   2.00	12.00   2.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	118,987	107,928	109,200	109,200	109,200					
		非常勤職員分	千円	17,610	16,554	5,760	5,760	5,760					
	総事業費 + +		千円	799,391	808,948	807,614	770,847	805,771					
	単位あたりコスト ÷		円	14,944	14,628	13,939	14,342	14,555					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	799,391	808,948	807,614	770,847	805,771						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	92.8	活動指標(2)の16年度達成率%	107.1	16年度予算執行率%	94.7					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)													

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	収集車の積載量の見直し、廃プラスチック、びん・缶の資源ごみ収集開始により増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。杉並中継所問題に関しては、14年6月に国の公害等調整委員会の裁定があり、平成8年4月から8月ごろに生じた健康不調は、中継所の操業に伴って発生した科学物質によるものとされたが、その他の症状に関しては棄却された。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中継所の役割、事業成果が正当に評価される一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、中継所の即時操業停止を求める意見が一部にある。
	今後の予測	杉並中継所の安全で円滑な運営を行うとともに、周辺環境への影響を少なくするための努力を行っていく。ごみの減量対策を積極的に進め、24年度を目標に杉並中継所を不要なものとしていく。国は容器包装リサイクル法対象外の廃プラスチックについて熱処理することを検討している。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 清掃事業は区民の日常生活に密着した行政サービスであり、欠かすことのできない事業である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 効率的な収集・中継作業体制を確立してゆく。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 財調基礎数値に従量費用負担制度を確立するよう求めるなど、配分適正化の余地がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容: 効率的な収集運搬体制を確立することでコストダウンの余地がある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容 ) 協働等の相手 協働等の形態	理由: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、区民を対象とした家庭廃棄物の収集・運搬・処分は区の責務とされている。  理由または具体的内容:
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 法律により収集・運搬・処分については区の責務とされているが、中継所に関しては、委託の可能性を研究する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 レジ袋の削減を含めたごみの減量や、プラスチックなどの資源分別の徹底、処理方法の見直しなどを行う。また、中野区・練馬区とも連携し、平成24年度には不燃ごみを最大80%減量し、杉並中継所を不要なものとしていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ごみの減量、廃プラスチックの回収、資源分別の徹底については、杉並・中野・練馬の各区が協同して取り組まなければならない。今後は一層の連携強化が必要である。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	廃プラスチックの回収を区内6分の1から6分の2へ引き上げ、ペットボトルの収集も拡大することで、中継所への不燃ごみ搬入量を減らしていくが、施設維持経費などの大幅な減は見込まれないため、予算は増減なしと思われる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大ごみ中継作業				整理番号	715	枝番号			
担当部課名		環境清掃部杉並清掃事務所		コード	230507	連絡先電話番号	3323-4571	昨年度整理番号	735		
係名					方南作業係			上位施策名			
係名					方南作業係			No			
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区と周辺9区から収集したし尿及び杉並区と渋谷区、中野区から収集した粗大ごみ				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） し尿：小型車で収集したし尿を一時貯留槽に受け入れ、大型車で大井作業所へ搬出する中継所の運営管理を行う。 粗大：小型ダンプ車で収集した粗大ごみを圧縮機を備えた中型プレス車に積替え、粗大ごみ破砕処理施設へ搬出する中継所の運営管理を行う。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・搬出を行う。 中・大型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、環境への負荷を最小限にする。						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 搬出したし尿量				(1) し尿搬出車両台数							
(2) 搬出した粗大ごみ量				(2) 粗大ごみ搬出車両台数							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		kl	2,437	1,980	2,000	2,045	2,000	1,800	113.6	
	活動指標(2)		t	3,543	3,845	3,900	3,799	3,900	3,350	113.4	
	成果指標(1)		台	500	461	460	468	460	420	111.4	
	成果指標(2)		台	2,237	2,665	2,700	2,558	2,600	2,200	116.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	152,985	157,482	167,092	156,032	169,125	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度職員数の減は、粗大受付担当職員数の減による。		
	(内)委託費		千円	24,684	25,037	27,299	24,940	27,299			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.61	3.46	3.05	2.13	1.06			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	5,541	31,119	27,755	19,383	9,646			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	158,526	188,601	194,847	175,415	178,771			
	単位あたりコスト ÷		円	65,050	95,253	97,424	85,778	89,386			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引：一般財源 -		千円	158,526	188,601	194,847	175,415	178,771				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	102.3	活動指標(2)の16年度達成率%	97.4	16年度予算執行率%	93.4			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			粗大ごみ受付業務の簡素化、効率化により、平成17年度から受付職員1名を削減した。								

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区のし尿対策戸数 平成11年度118戸 平成16年度72戸 平成15年10月から家庭用パソコンのメーカー等による回収・リサイクルが開始された。 平成16年4月から家電リサイクル法に家庭用電気冷蔵庫が追加された。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	粗大ごみの収集申し込みが増え、収集までの期間が2～3週間となっている。申し込みから収集までの期間短縮や日曜日を含めた希望日収集などきめ細やかなサービスの向上が求められている。
	今後の予測	粗大ごみの搬出量は、家電リサイクル法等の浸透と相俟って、冷蔵庫やテレビなど重量のあるものが大幅に減少し、重量ベースで比較すると年々減少傾向にある。しかし、申し込み件数はここ数年増加しており、景気の回復に比例し、今後僅かではあるが、増加が見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: し尿、粗大ごみとも小型車で収集し、より大型の車で処理・処分場へ輸送することにより、迅速かつ効率的な収集と輸送を実現し収集サービスの向上に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: し尿: 貯留層や搬出車両台数の一層の適正管理に努める。 粗大: 家電や家電製品リサイクル化を進めることにより、粗大ごみの量を減らす。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 粗大ごみ手数料を見直し、適正な負担を求める。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 16年度に中継所の土地賃貸借契約の見直しによりコストを削減した。さらに17年度から粗大ごみの受付業務を委託し、職員1名を削減した。今後、し尿の受付業務等の委託化を検討し、コストの削減に努める。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 粗大ごみ中継業務委託 粗大ごみ搬入車両の受付業務 粗大ごみ積替え作業 日報・月報の作成、報告業務 その他関連業務
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み:

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民から申込のあった粗大ごみの収集を迅速に行うためには、収集と中継作業の連携が必要であり、中継所のより効率的な運営を目指して委託内容を見直していく。 区は、粗大ごみ排出を抑制するため、資源や家具、家電製品のリサイクル、リユースを推進し、循環型社会の形成を推進する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 中継所には渋谷区と中野区の粗大ごみが入ってきているため、杉並区が単独で委託内容を変更するのは難しい場合がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	現在検討中の粗大ごみの日曜日収集や自己持込制度が実施されると、経費の増加が見込まれる。